

令和元年度 多面的機能発揮促進事業
中国四国農政局長表彰 最優秀賞組織

【環境保全型農業直接支払】

寺岡有機農場有限公司 (広島県世羅郡世羅町)

～ 有機にこだわり40年、本物志向の農場生産法人 ～

1. 組織概要

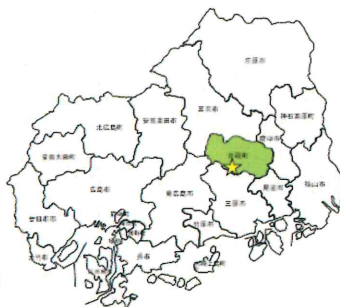
(1) 環境直接支払取組概要

【取組内容】 有機農業の取組

【取組面積】 944 a (H30年度)

【対象作物】 野菜

【交付金額】 755.2千円



圃場(世羅町)

(2) 構成員数

有限公司(役員3人、従業員8人)

(3) 環境直接支払取組開始年

平成23年度

(4) 化学肥料・農薬低減割合

【有機農業】化学肥料10割減、化学合成農薬10割減



農場全景(世羅町)

2. 推薦組織の取組概要

本法人は、昭和50年からグループ会社である寺岡有機醸造(株)が製造する醤油原料の大豆、小麦を有機栽培できないかと取り組んだことをきっかけに、現在は野菜の有機栽培に取り組んでいる。

世羅町の他に福山市、尾道市、三原市にある農場においても有機野菜の生産を行っている大規模法人である。有機JAS法が制定される以前から無農薬栽培にこだわり、現在ほぼ全ての農場で有機JAS認証を取得している。正社員のほとんどが地元広島出身の若い農業者であり、活気にあふれた農場となっている。

3. 取組内容

- 世羅町の世羅農場(総面積22ha)内の圃場において、平成23年度から継続して環境保全型農業直接支払交付金に取り組んでいる。露地栽培及びビニールハウスでベビーリーフなどの葉物野菜を主体に、にんじん、ごぼうなどの根菜類を含め、これら全てで有機栽培を行っており、地球温暖化防止や生物多様性の保全に効果の高い、環境への負担軽減を図った営農活動を実践している。
- 有機JAS制度がスタートする以前から農薬不使用にこだわり、当制度が始まった平成13年に一部農場で有機JAS認証を取得した。現在全ての農場で認証を取得し、生産および販売に効果的に活用している。さらに、令和元年11月のJGAP認証取得を目標に社員一丸となって取り組んでいる。
- 世羅農場は中国山地の中山間地にあることから、冷涼で日較差のある気候や土壌の特性に合った作物を生産している。雑草や虫害のリスクが高い有機農産物の安定供給を実現するため、近年はハウス栽培を推進し、有機野菜の品質の向上に努めている。
- より良い野菜づくりのために、露地の圃場及びハウスごとに土壌分析を実施し、その結果に基づき科学的視点から堆肥の施用などにより常に土壌の改善を行っている。さらに、農場の植物残渣や地域内のもみガラ等、地域内で発生した有機物を優先的に使用した堆肥を活用する等、地域内の循環を考慮した土づくりに取り組んでいる。また、ハウス内で太陽熱による土壌消毒を実施し、病害虫及び雑草の発生を抑制している。
- 平成6年に国営事業で造成された農地を取得したことが、本法人が当地での営農を始めたきっかけであるが、近年、農業従事者の減少や高齢化により耕作不可能となった農地を積極的に受け入れ、農地の荒廃防止に貢献している。また、労働力として地元の若者を積極的に雇用しており、農場で働く正社員のほとんどを地元広島県出身の20歳代の若者が占めている。広島県の農業技術を習得した広島県立農業技術大学校の出身者も多く、今後とも若い農業者が夢と希望を持って働くことができる環境を作るため、組織体制や経営の安定化を目指している。



露地栽培(ごぼう)



ビニールハウス



ハウス栽培(ベビーリーフ)



有機農産物(パック詰め)